

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワークステーション夢んぼ				公表日	令和 7 年 9 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースは適切で十分な広さがあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	6	活動内容も含めて職員の出勤をシフトで管理しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		こどもたちが来所し発達支援室へ行くまでの分かりやすさと発達支援室での視覚的な分かりやすさを工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日消毒と清掃をしています。 全員が過ごせる広い空間の部屋と、グループ分けや個別対応ができる部屋があります。	別の活動で使用する備品などが目に触れないよう収納を工夫していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	必要に応じて個別対応がとれるように場所を確保しています。	個別対応が重複した時を想定して対応していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	毎月職員ミーティングを行い、ご利用者様の状況によって支援内容を相談、変更をしています。	全員が情報共有ができるよう、毎日の打ち合わせでも共有できるようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	アンケートの内容は開示し、情報共有しています。	保護者の方からの声をもとに、改善すべきものは迅速に対応していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎日の打ち合わせなどで意見を把握できるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	第三者による外部評価は実施していません。毎月実施している法人の役員会での評価を改善に繋げています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修委員による内部研修や外部講師による研修を実施しています。職員の資質向上を図るため外部研修参加の機会を確保しています。	研修参加者が偏らないよう、誰もが参加しやすいようにしていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメントを適切に行い、ニーズや課題などを整理したうえで計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画作成の際には職員間で会議を行い、子どもたちのための最善の支援について検討をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	職員ミーティングを行い、計画の内容を共有して関わっています。	ミーティングに参加できなかった職員への伝達漏れが無いように確認をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		行動観察なども含めて、状況や様子について必要なアセスメントができるよう努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		適切な項目に応じて支援内容を検討し設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		プログラムミーティングを行い、どのスタッフも意見が出せるようにしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		こどもたち集団と個々に合わせた内容を考え提供しています。利用状況を見ながら見直しと継続、利用が減少しているものは改善しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別、集団を意識してプログラムを作成しています。個人のスキルを高める内容、集団を意識する内容、将来に目を向ける視点は常に持つようになっています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	支援開始前には毎日打ち合わせをしています。		

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後には支援記録を作成し情報の共有しています。	支援終了後に送迎で参加できない職員への情報共有や聞き取りができるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々記録した支援記録により、前回の記録からの課題を見直し改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、支援内容の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		ガイドラインにある「4つの基本活動」を取り入れて毎日のプログラムを作成しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己決定ができるよう活動内容に選択をするものや日々の関わりの中で自分で選んで決めるという場面を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要な機関と関わりながら情報共有、支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校や保護者の方から年間予定や毎月の予定を教えていただき送迎や活動を調整しています。トラブルがあればすぐに対応できるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		法人内の児童発達支援から放課後等デイサービスの利用に繋がっているため、情報共有ができています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		個別支援計画、モニタリング、アセスメントの情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	発達支援部会などに参加することで、定期的な連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	プログラムの中でインクルーシブの取り組みを取り入れ、地域の子どもたちとの交流を意識した活動を実施しています。	通信やSNS等を活用し、活動の様子をお伝えしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	法人として参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		面談以外にも電話での相談、送迎の際など保護者の方とお話する時間を作っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		事業所で取り組んでいる療育を保護者の方にお伝えし、その効果や家庭でも取り組める内容をお伝えしています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や面談時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談の際にご自宅での様子や将来の目標などを伺い、こどもたちの現状も伝えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		保護者の方に説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		その時の状況に応じて定期面談とは違う面談の機会を設けたり、電話面談を行ったりしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	現在保護者会等は実施していませんが、進路説明会や作イベントで保護者の方が参加できる機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		HPやSNSを活用して活動の様子を発信しています。メッセージ配信によりプログラムや活動のお知らせ、法人からの案内を配信しています。	Instagramでの発信を保護者の方に周知していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報など重要書類は鍵付き書庫で保管しています。書類以外のレジュメなど使用後はシュレッダーで処分しています。	個人情報の取扱規程を確認し、職員全員で周知していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		口頭でのやり取りだけでなく、書面での説明や質問にも対応しています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域イベントに参加しています。	事業所のイベントの開催については、必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		ミーティングにおいてマニュアルの読み合わせと、毎月の研修と訓練を実施しています。保護者の方には契約時や面談時にお知らせをしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎月、職員ミーティングを行いご利用者の状況によって支援内容を相談、変更をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		現在必要なご利用者様はいませんが、契約時や必要な状況になった時には共有できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アレルギー対応表を作り、職員が把握できるようにしています。	職員全員が共有できるよう確認をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、それに基づいた研修や訓練を定期的実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づく取り組み内容を毎月のメッセージ配信により周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		活動中に発生したヒヤリハットの事例について職員で共有と対策をします。また報告書を作成し職員ミーティングも確認をしています。小さなことでも事例報告をすることで、リスクを最小限に留められるように活用しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所内において定期的に虐待防止の研修を実施しています。毎月全員が虐待防止チェックリストを作成し管理者が確認をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束の必要がある場合は、ご利用者と保護者の方に説明し同意書にサインをいただいています。個別支援計画にも記載しています。身体拘束を行う場合は、状況の記録を残すようにしています。	